

# 令和元年度事業計画

## 1 はじめに

我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く人のニーズの多様化」などの状況に直面しています。

こうした中、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要となり、国はこの課題解決のため働く人の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現する「働き方改革」を目指しています。

その一環の高年齢者雇用対策では、雇用環境の整備に取り組む企業への支援充実や地域で働ける場や社会を支える活動ができる場の拡大で「シルバー人材センターの活用」などにより、地域における高年齢者の多様なニーズに応じた就業機会を確保することも明記されました。

このことは、高齢者に働く機会を提供し、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを目指しているシルバー人材センター（以下「センター」という。）にとって追い風であることから、期待に応えることができる体制づくりのため、会員・役職員が一体となって対応する必要があります。

センターとしては、健康で意欲と能力のある限り働きつづけることができる「生涯現役社会の実現」を目指し、生きがいづくりや仲間づくりを進めながら、ボランティア活動など地域社会への貢献に努めてまいります。

シルバー事業運営にあたっては、各種の施策に取り組み、多くの会員の就業・就労機会を通じて地域社会発展の一翼を担ってまいります。

なお、最終年度となる「第2次中期基本計画」については、これまでの実績を振り返り検証を行い、より実効性のある中期計画の策定も行います。

併せて、引き続き健全財政に向けて、効率的かつ効果的な組織体制や事業運営を目指すと共に「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を最大限に活用し、センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと健全な事業運営と地域社会に貢献していくこととします。

## 2 基本方針

- (1) 会員組織の充実と活性化
- (2) 会員確保運動の強化
- (3) 就業機会の開拓・拡大
- (4) 安全・適正就業の推進
- (5) 地域社会への貢献
- (6) 事務局体制の充実と強化

## 3 目標値の設定

会員数、受注件数、契約金額等については、中期基本計画をもとに実現可能な目標を設定する。（派遣事業、有料職業紹介事業を含む。）

会員数	受注件数	就業延人員	契約金額
550 人	6,260 件	54,700 人	294,000 千円

#### 4 事業計画

##### (1) 会員組織の充実と活性化

- ア 理事会及び委員会のさらなる充実に向けた研修制度の充実を図り、能力・資質の向上に努める。
- イ 地域班・職群班の活動はセンターの根幹をなすものであり、拡充と強化を図るとともに会員相互の連帯感を高め、作業の効率化・活性化を推進する。
- ウ 刈払い作業や剪定作業については、会員の高齢化と減少により就業に支障が生じないように、会員の拡充を図るとともに中心となるリーダーの育成を図り、チームワークの醸成を進める。
- エ 即戦力となる就業会員を育成するため、技能講習や接遇研修を実施し会員及び役職員の資質の向上を図る。
- オ 各種の同好会など会員相互交流の場の充実を図り、魅力のあるセンターを目指す。

##### (2) 会員確保運動の強化

- ア 会員各人が一人の新規会員の確保運動を推進するとともに、新規入会者が加入しやすい環境を作る。
- イ 各種講習会や研修会を開催しながら、受講者への入会勧誘を行う。
- ウ 公共職業安定所との情報交換など連携強化により、会員拡大に取り組む。
- エ イベント会場等でのキャンペーン活動による普及啓発活動に取り組む。
- オ 会員募集の新聞折り込みチラシや大型量販店への会員募集チラシの配置、その他郵便局の現金封筒広告を充実強化し新規会員の確保に努める。
- カ 「お知らせ版」や「シルバーだより」の記事内容を充実し、読みやすい広報紙を作成して会員募集を広く周知する。
- キ ホームページの充実や地域FMラジオCMを引き続き活用し、会員の入会促進や就業機会の新規拡大に努める。

##### (3) 就業機会の開拓・拡大

- ア 就業開拓員による就業の開拓に努める一方で、就業場所においては「のぼり旗」を設置することで、センターの存在を市民へ訴える。
- イ 発注者への対応は、誠実・丁寧・迅速をモットーとして、定期的な作業状況等について聞き取り調査を実施し、信頼される就業に努める。
- ウ 行政機関や公共的団体との意見交換や連携を密にして、新たな公共事業の受注拡大に努める。
- エ 「シルバーだより」や市の「広報用マガジンラック」の活用を図るとともに、祭りやイベント等における事業PRを図る。
- オ 刃物研ぎ事業を広く市民へ周知しながら、事業の拡大に努めるとともに、就業会員の熟練度の高い技術の向上に向けた研修を実施する。
- カ 刃物研ぎ事業に続く新たな独自事業の創出に向けて、会員の職務能力の分析及び地域が求めるサービスについて調査する。
- キ 一般労働者派遣事業においては、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を積極的に活用し、コーディネーターを配置して派遣事業先の開拓と派遣会員の確保に努

める。

#### (4) 安全・適正就業の推進

- ア 安全第一を最優先事項とし、作業現場の事前確認はもとより作業開始前のミーティングを必ず行い、安全就業に努める。
- イ 毎月10日の安全の日に安全パトロールを実施するとともに、作業現場での看板やのぼり旗の設置や安全ベストの着用を徹底し、会員の事故防止への認識を高める。
- ウ 道路沿いの現場では、発注者の同意を得て警察への道路使用許可の申請や専門の交通整理員を配置するなど、安全就業を徹底していく。
- エ 危険性が伴うと判断される現場は、「受注しない」または「受注内容の変更」を検討する。
- オ 事故や怪我が発生した場合は、事故原因の調査分析と再発防止策を図るとともに、必要に応じ教育指導として班全員による話し合いの場を設ける。
- カ 発注者への迷惑行為や会員間の協調性に欠けたり、無届就業をする等の行為は不適正就業行為とみなし、就業不適格会員として「安全適正就業委員会」において、訓戒や一定期間の就業停止等の厳しい罰則措置を適用する。
- キ 刈払い作業や剪定作業の実技講習会による技術力の向上や安全衛生講習会を開催し、より一層の安全適正就業に努める。

#### (5) 地域社会への貢献

公益法人としての地域社会への貢献とシルバー事業の普及啓発を兼ねた「ボランティア活動」を実施し、より一層、地域社会に喜ばれ信頼されるセンターを目指す。

#### (6) 事務局体制の充実と強化

- ア 業務の多様化や事務量の増大、事務処理等の複雑化に対応できる業務見直しや充実を図るなど職員の資質向上等に努める。
- イ 上部団体との連携を密にするほか、他センターへの先進地研修や意見交換を行い事業の充実と効率的な組織体制づくりに努める。
- ウ 事務局の経費について節減に努めるとともに、収支の見込みを適切に行い、社会経済情勢の変化に対応できる体制を構築し堅実な運営を行う。
- エ 年会費の配分金からの控除に取り組むなど、会員の利便性向上を図る。また、インターネットを活用した「配分金明細」や「センターからのお知らせ」の確認、「顔写真付き会員証」の発行など各種の会員サービスも推進する。
- オ 利用者の利便性向上のため 東支所の移転及び甕島の架橋完成を見越した支所統合の計画を進める。
- カ 事務所内のO A機器の有効活用を図るとともに備品設備等の改善を行い、効率的なセンター運営を目指す。
- キ 公益社団法人として、行政庁の指導監督に対応するため法令遵守を徹底する。